


海岸漂着物環境学習プログラム「カッパの清吉と海ごみのルーツを探ろう！」  
シナリオ例（簡易バージョン）

準備			
パート	時間	準備内容	指導員が準備しておくこと
準備	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ分け</li> <li>机の配置</li> <li>使用するカードの選択</li> </ul>	<p>&lt;教室形式の場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●4～6名程度のグループを作る。</li> <li>●グループごとに机をくっつける。</li> </ul> <p>&lt;ブース形式の場合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●1～6名まで同時に実施可能。</li> <li>●指導員が机の反対側に座り対応する。</li> </ul> <p>&lt;共通&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●使用するカードを選ぶ（10種20枚程度）。 「海の恵み・生きもの（青色）」、「自然系海ごみ（緑色）」、「事業系海ごみ（オレンジ色）」、「生活系海ごみ（赤色）」の各種カードから最低1枚以上、合計で10種20枚を選ぶ。</li> </ul> <p>※ 例</p> <p>海の恵み・生きもの（青色）：アサリ、ウミガメ、スナメリ（3種） 自然系海ごみ（緑色）：流木（1種） 事業系海ごみ（オレンジ色）：発泡スチロール、漁網、（2種） 生活系海ごみ（赤色）：プラスチック製品、ペットボトル、缶、レジ袋（4種）</p>
			
		ブース形式のイメージ	
絵合わせゲームを行う（6分）			
パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
ゲーム説明	1分	準備。 ↓ 指導者の説明をきく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各グループにカード一式を配り、ゲームの説明をする。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「これは、海や海岸にあるものが描かれたカードです。今から、このカードを使って、絵合わせゲームを行います。」</li> <li>②「裏面（清吉の絵）を上にして、カードを並べてください。」</li> <li>③「ルールは、神経衰弱と同じです。裏面には、ヒントが書かれているので、上手に使ってください。」</li> <li>④「一つ約束があります。カードをめくったら、海や海岸にあるものの名前と、その特徴が書いてあるので、めくった人は必ずそれを声に出して読んでください。」</li> <li>⑤「時間は5分です。当たっても外れても、一回で次の人に交代して下さい。カードを多くとった人が勝ちです。」</li> </ol>
ゲーム	5分	絵合わせゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ゲームの実施（5分間程度）。 「それではゲームを始めてください。」</li> <li>※ 少なくとも一巡するよう、声をかける。</li> <li>※ 全部終わってなくても終了の声掛けをする。（教室形式）</li> <li>※ 残ったカードがあれば表向きにする。</li> <li>●グループごとの優勝者を発表する、拍手</li> </ul>
カードの種類分けを行う（6分）			
パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
種類分け①（色別）	3分	グループで協力してカードを色別に分け、海ごみにはどんな種類があり、どんな影響があるか考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全てのカードを色別に分けさせる。</li> <li>●色ごとのグループについて考えるよう促す。 「青、緑、オレンジ、赤色は、それぞれどんなグループでしょう？」</li> <li>●海ごみにもいろいろな種類のものがあることを伝える。 「正解を発表します。青は海の恵み、緑は自然系海ごみ、オレンジは事業系海ごみ、赤は生活系海ごみです。」</li> </ul>

種類分け② (発生源別)	3分	グループで協力して海ごみの中で、「海以外からくるもの」を探す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海ごみのカード（緑、オレンジ、赤色）の発生源を考えるよう促す。 「次に、海ごみの発生源について考えます。海ごみの中で、海以外からやってくるものを探してください。」</li> <li>●指名して、数名の参加者に答えさせた後、発生源について考えるよう促す。 「海以外から来るごみは、どのように海にやって来ると思いますか？」</li> <li>●内陸部から来るものも多いことを伝える。 「私たちの日常生活から出たごみが、川を流れて海ごみになることが多いです。海から離れたところのごみも海ごみになります。海ごみ問題は沿岸部の人だけの問題ではありません。」</li> </ul>
-----------------	----	---------------------------------	--

**自分たちにできることを考える（3分）**

パート	時間	活動内容	指導員のはたらきかけ
解説共有	3分	<p>指導者の説明を聞き、海ごみを無くすために何ができるか考える。</p> <p>後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●海ごみによる影響を説明する。 &lt;説明する内容&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>・海の生き物を傷つける、間違えて食べてしまう</li> <li>・ごみを食べた魚を私たちが食べてしまうこともある</li> </ul> </li> <li>※ マイクロプラスチックの説明も行う</li> <li>・海岸が汚れる、潮干狩りや海水浴の邪魔になる</li> <li>・船の航行や漁業の邪魔になる</li> <li>●ポイ捨ては絶対にいけないこと、ごみが風に飛ばされないよう注意することを確認。</li> <li>●カードを片付ける。</li> </ul>